

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

退引競技生 羽生



記者会見するフィギュアスケート男子の羽生結弦=19日午後、東京都内のホテル

フィギュア プロ転向決意 「理想追いながら頑張る」

フィギュアスケート男子で2014年ソチ、18年平昌両冬季五輪王者の羽生結弦(ニセ)ANAが19日、東京都内で記者

会見し「プロのアスリートとしてスケートを続けることを決意した。理想としているフィギュアを追い求めるのは競技会で

なくてもできる。理想を追いながら頑張る」と話し、第一線を退く意向を表明した。今後は五輪などの競技会に出場せず、

アイスショーに軸足を移す。2月の北京五輪で3連覇を逃して4位に終わった後、進退を明言していなかった。

4歳でスケートを始めた。11年に出身地の仙台市で練習中に発生した東日本大震災を乗り越え、14年ソチ五輪で同種目の日本勢初の金メダル。17年には右足首に大けがを負ったが、復帰戦の18年平昌五輪では同種目で66年ぶりの2連覇を達成した。冬季五輪金メダリストで初めて、個人で最年少23歳で国民栄誉賞を受賞した。北京五輪では前人未踏のクワッドアクセル(4回転半ジャンプ)の成功も目指したが、フリーで挑んで転倒した。

羽生は10、11年シーズンにシニアに転向。五輪や世界選手権、グランプリ(GP)ファイナルなどの主要タイトルを総なめにしてきた。10年以上も世界のトップで活躍してきたが、一時代の終わりを告げた。